

Google I/O 2026 における Gemini 3.5・Gemini Spark・Gemini Omni 評価報告

エグゼクティブサマリー

Google I/O 2026 は 2026 年 5 月 19 日から 20 日にかけて、カリフォルニア州マウンテンビューの Shoreline Amphitheatre で開催され、Google はこれを「agentic Gemini era」の本格始動として位置づけました。中核発表は、出荷済みの新モデル **Gemini 3.5 Flash**、24 時間稼働する個人エージェント **Gemini Spark**、生成メディア系の新系列 **Gemini Omni**、そしてそれらを支える **Managed Agents in the Gemini API**、**Antigravity**、**Gemini Enterprise Agent Platform** です。 ¹

評価軸を厳密に分けると、現時点で最も検証可能な成果物は **Gemini 3.5 Flash** です。Google の公式ドキュメントでは、Gemini 3.5 Flash の推論基盤をベースに thinking levels を導入し、**1M トークン文脈**、**テキスト・画像・音声・動画入力**、**テキスト出力**、**各種ツール利用** を提供する安定版 GA とされています。独立評価では Artificial Analysis の Intelligence Index で **55**、出力速度で **190.2 tok/s** を記録しており、強い価格性能比と高速性を示します。一方で、同じ独立指標では **Claude Opus 4.7** が **57**、**Claude Sonnet 4.6** が **52** を記録しており、Gemini 3.5 Flash は「絶対首位」よりも **上位帯の高速エージェント・コーディング向け実用モデル** と捉えるのが妥当です。 ²

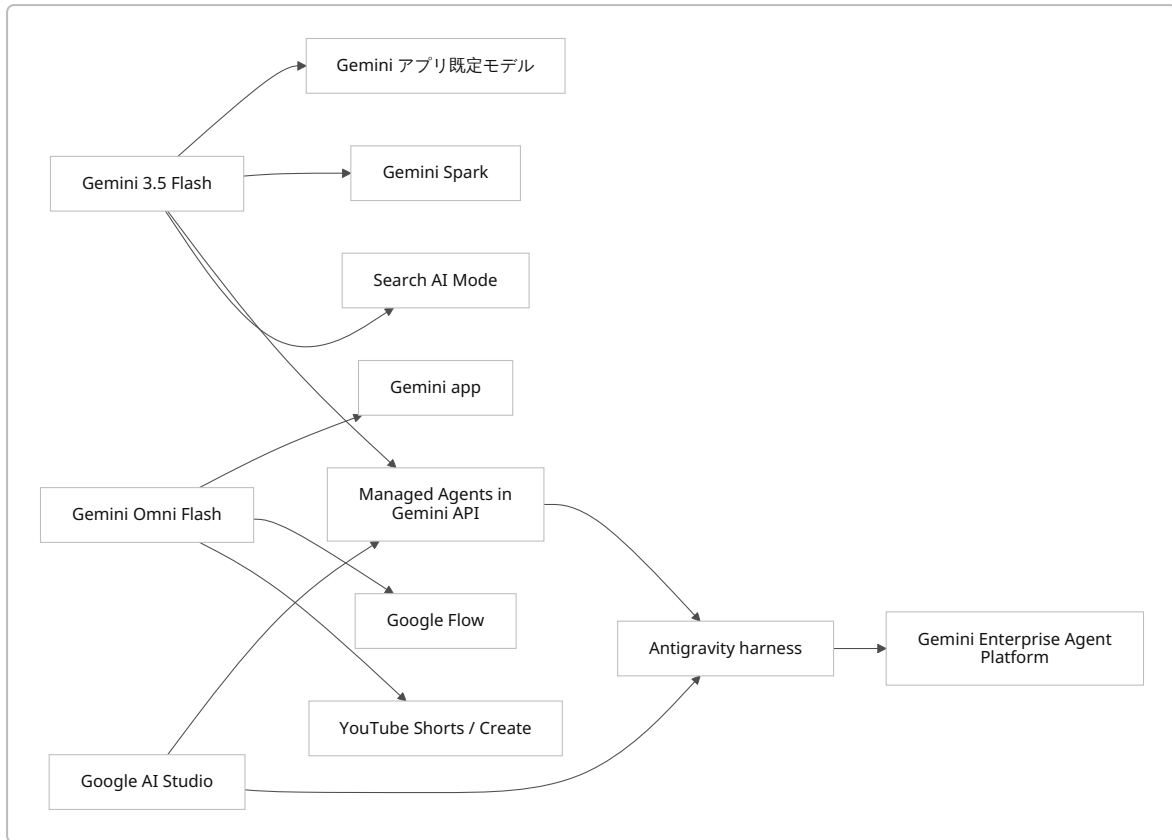
一方で、**Gemini Omni** は戦略的には非常に重要ですが、現時点では最も未検証です。公式モデルカードは、Omni Flash を **text / image / audio / video 入力から video + audio を出力する transformer-based モデル** と説明しつつ、**開発者向け API 公開時に評価を共有する** と明記しています。つまり、2026 年 5 月 23 日時点では、Omni を Sora 2 や Veo 3.1 と同じ粒度で横比較するための独立ベンチマークはまだ不足しています。 ³

Gemini Spark は、使い勝手の伸びしろが大きい反面、**信頼・プライバシー・運用制御の課題が最も大きい製品** です。Google は Spark を、Gemini 3.5 と Antigravity harness 上で動く、Workspace 深統合・クラウド常駐のエージェントとして説明しています。高リスク操作前の確認、接続アプリの選択制、MCP 連携拡張などの制御は用意されていますが、同時に「メール、予定表、文書、外部アプリを横断して継続動作する」という設計は、従来のチャットボットよりはるかに大きなデータ集中と権限設計の問題を伴います。 ⁴

総じて、I/O 2026 の本質は「単一モデルの性能誇示」ではなく、**モデル → エージェント・ハーネス → サンドボックス実行 → 企業基盤 → 消費者向けプロダクト面への接続** を一気通貫で揃えたことにあります。短期では 3.5 Flash が実装可能性を示し、中期では Spark の信頼性、長期では Omni の API 化と評価公開が勝負所です。 ⁵

発表の全体像と製品別技術要約

Google の I/O 2026 における Gemini 関連発表は、単独の「新モデル発表」ではなく、**推論モデル、常駐エージェント、生成メディア、開発プラットフォーム、企業基盤、検索・YouTube・Flow などの配布面** を連結したスタックとして理解するのが最も正確です。公式発表でも、Gemini 3.5 と Gemini Omni を新たな 2 本柱としつつ、Spark、Antigravity、Google AI Studio、Search、Flow への接続が同時に語られています。 ⁶



この構造から見えるのは、Google が「モデル性能」だけでなく「実行面・流通面・統治面」まで含めて競争する方針に完全に舵を切ったことです。 7

製品	区分	アーキテクチャ・技術要約	入出力モダリティ	API / SDK / 実装面	提供状況・価格	出典
Gemini 3.5 Flash	新 AI モデル	Gemini 3 Flash の推論基盤をベースにした次世代版。thinking levels で品質・コスト・レイテンシを調整。1M context、64K output。Gemini 3 系のツール群を継承するが Computer Use は未対応 。	入力: text / image / audio / video / PDF、出力: text	Gemini API、Google AI Studio、Agent Platform。GenerateContent と Interactions API の両方を利用可能。	GA 。価格は thinking level とモダリティ依存でライブ表が基準。独立評価側では高 thinking 条件を \$1.50 / \$9.00 で試験。	公式・AA 8

製品	区分	アーキテクチャ・技術要約	入出力モダリティ	API / SDK / 実装面	提供状況・価格	出典
Gemini Spark	AI エージェント	Gemini 3.5 上で動く クラウド常駐 の 24/7 個人エージェント。 Antigravity harness を使用し、Workspace や接続アプリを横断してバックグラウンド作業。	固定的な I/O モデルではなく、要約・文書作成・実行・通知などのエージェント動作が中心	外部向け公共 API は未公表。Gemini アプリ、今後の macOS アプリ、MCP 接続、将来のカスタム sub-agent に拡張予定。	trusted testers 向けロールアウト開始。 米国の Google AI Ultra 加入者向け Beta を翌週展開予定 。サブスクリプションでは Ultra \$100 / \$200 tiers が言及。	公式 9
Gemini Omni Flash	動画・画像生成系モデル	Transformer-based のネイティブ・マルチモーダル生成モデル。Gemini の推論能力と Google の generative media 系を統合。訓練には text / image / audio / video が使われ、TPU、JAX、ML Pathways を使用。	入力: text / image / audio / video、出力: video with audio 。将来は出力モダリティ拡張を予告。	2026-05-23 時点で開発者向け正式 API モデル ID / 価格は未公表。	Gemini app と Google Flow では AI Plus / Pro / Ultra 向けにグローバル展開 、YouTube Shorts / Create では無償ロールアウト開始。API は「今後数週間」で提供予定。価格は 未公表 。	公式 10
Managed Agents in Gemini API	エージェント API	1 回の API 呼び出しで Google ホストの 隔離 Linux sandbox を持つ状態保持型エージェントを起動。コード実行、ファイル操作、Web ブラウズ、ツール呼び出しを実装。	入力は自然言語を中心に多段階ツール利用、出力は状態付きのエージェント応答	Interactions API、AI Studio Playground、AGENTS.md / SKILL.md で拡張。	Public Preview 。モデル使用量は preview 中も標準レート課金。Enterprise 向けは私的 preview あり。	公式 11

製品	区分	アーキテクチャ・技術要約	入出力モダリティ	API / SDK / 実装面	提供状況・価格	出典
Antigravity と Gemini Enterprise Agent Platform	開発・企業基盤	CLI / SDK / Agent Studio / Skill Registry / RAG Engine / Gateway / Governance を含む包括基盤。旧 Vertex AI の発展系として、エージェント設計・配備・評価・統制を統合。	複数モデル・複数エージェントの実行基盤	Antigravity CLI、Antigravity SDK、Google Cloud Agent Platform、OSS フレームワーク連携	Agent Platform は新規顧客に \$300 credits 。Antigravity 消費者面では AI Ultra の高使用枠や bonus credits を案内。	公式 ¹²

ここで重要なのは、I/O 2026 の実出荷モデルは **Gemini 3.5 Flash** であり、**Gemini 3.5 Pro** はまだ docs 上の主役ではない点です。公式の Gemini API モデル一覧は 2026 年 5 月 23 日時点で 3.5 Flash を安定版として掲載している一方、3.5 Pro の公式モデルページや API 仕様は確認できませんでした。報道では 3.5 Pro が翌月予定とされていますが、本稿ではあくまで **出荷済み・検証可能な 3.5 Flash を中心** に評価します。 ¹³

性能評価と競合比較

性能評価について結論を先に言うと、**Gemini 3.5 Flash** は「**高速なフロンティア実用モデル**」としてかなり強いが、**独立評価では絶対首位ではない**、というのが最もバランスの良い読み方です。Google 自身のモデルカードでは、Terminal-bench 2.1 で **76.2%**、SWE-Bench Pro で **55.1%**、MCP Atlas で **83.6%**、Toolathlon で **56.5%** を掲げ、GPT-5.5 や Claude 4 系の一部比較列も載せています。ただしこれは Google 側の self-eval であり、第三者再現がまだ十分ではありません。 ¹⁴

独立指標では、Artificial Analysis が Gemini 3.5 Flash を **Intelligence Index 55**、**出力速度 190.2 tok/s**、**TTFT 22.54s** と評価しています。この値は GPT-4o / 4o mini を大きく上回り、Claude Sonnet 4.6 とほぼ同クラス、Claude Opus 4.7 をわずかに下回る位置づけです。つまり 3.5 Flash は“**フラッシュ級なのに速くて強い**”のは確かですが、“**全カテゴリで最強**”とまでは言いにくいということです。 ¹⁵

モデル	現行での位置づけ	入出力	Context	価格	独立評価	速度	評価メモ	出典
Gemini 3.5 Flash	Google の agentic / coding 向け主力 Flash	入力: text / image / speech / video、出力: text	1M	公式価格表は thinking level 依存。AA での高 thinking 試験価格は \$1.50 / \$9.00	AA Intelligence Index 55	190.2 tok/s	高速さが最大の差別化。独立指標では Opus 4.7 に次ぐ上位帯。	¹⁶

モデル	現行での位置づけ	入出力	Context	価格	独立評価	速度	評価メモ	出典
GPT-4o	OpenAIの旧主力マルチモーダルモデル。ChatGPT UI では退役、API は継続	入力: text / image、 出力: text	128K	\$2.50 / \$10.00	AA 17	146.7 tok/s	依然速いが、2026年時点では能力面で旧世代。	17
GPT-4o mini	OpenAIの低価格小型モデル。API 継続	入力: text / image、 出力: text	128K	\$0.15 / \$0.60	AA 13	66 tok/s	コストは圧倒的に低いが、能力は3.5 Flashと大きく離れる。	18
Claude Sonnet 4.6	Anthropicの現行主力	入力: text / image、 出力: text	1M	\$3 / \$15	AA 52	AAでは約 54 tok/s	コーディング・長時間エージェントに強く、3.5 Flashの主要競合。	19
Claude Opus 4.7	Anthropicの最上位汎用モデル	入力: text / image、 出力: text	1M	\$5 / \$25	AA 57	51 tok/s	独立指標では3.5 Flashを上回るが、コストはかなり高い。	20

モデル	現行での位置づけ	入出力	Context	価格	独立評価	速度	評価メモ	出典
Llama 4 Maverick	Metaの現行 open-weights 主力	入力: text + up to 5 images、出力: text	1M	API 公定価格は未固定。Metaは \$0.19-\$0.49/Mtok 相当をコスト見込みとして提示	AA 18	AAでは約 110 tok/s	能力では 3.5 Flash と差があるが、open weights と自前運用自由度が魅力。	21

この表から読み取れる点は三つあります。第一に、**Gemini 3.5 Flash** は **GPT-4o / 4o mini** との差をかなり広げていることです。第二に、**Claude Sonnet 4.6 / Opus 4.7** との争点は「能力そのもの」より「能力対速度・能力対コスト」へ移っていることです。第三に、**Llama 4 Maverick** は **open-weights** の自由度と推論コスト期待値では魅力的でも、**純粋能力では 3.5 Flash と同レンジではない**、ということです。 22

Gemini 3.5 Flash の self-eval と独立評価の間にも面白いズレがあります。Google の self-eval では agentic coding・MCP ワークフローにおいてかなり強い数字が出ていますが、独立総合指数では **Opus 4.7** に 2 ポイント届いていません。これは、**Google が強いと主張するタスク分布と、独立評価が重視するタスク分布が完全には一致していない**ことを示唆します。したがって、開発者がすぐに行うべきは「一般ベンチを鵜呑みにした全面移行」ではなく、**自社の agent loop・ツール使用頻度・応答予算に合わせた eval routing** です。 23

生成メディアについては事情が異なります。**Gemini Omni Flash** はまだ**独立 benchmark 不足**で、**Veo 3.1** や **Sora 2** と同列には**比較しにくい**状態です。公式モデルカードは、Omni Flash の評価を「開発者・企業 API 提供時に共有する」としており、現時点では高解像度の video + audio 出力、会話による編集、物理一貫性の改善などの定性的主張が中心です。他方で、**Veo 3.1** には Google 自身が VBench I2V の human preference データを載せており、**Sora 2** には OpenAI の API 価格と仕様が存在します。Omni は**戦略的には面白いが、定量比較の準備はまだ整っていない**とみるべきです。 24

動画生成系モデル	モダリティ	API 状況	価格	独立評価の状況	現時点の判断	出典
Gemini Omni Flash	text / image / audio / video → video + audio	「今後数週間」で developers / enterprise APIs	未公表	未公表 。公式も API rollout 時に評価公開予定	現時点では UI 先行、評価未成熟	25
Veo 3.1	Google の既存上位動画系	Gemini API / Vertex 系の documented path あり	既存 Veo 3 系は秒課金で公開実績あり	Google は VBench ベースの preference を提示	実運用の比較基準としてはまだ Veo 3.1 の方が明確	26

動画生成系モデル	モダリティ	API 状況	価格	独立評価の状況	現時点の判断	出典
Sora 2 / Sora 2 Pro	text / image → video + audio	OpenAI Videos API あり。ただし 2026-09-24 に廃止予定	\$0.10/s, \$0.30/s 以上	独自比較はあるが、I/O 週時点の Omni と apples-to-apples は未成熟	仕様比較は可能だが、製品寿命の短さに注意	27

開発者体験と導入性

開発者体験の観点では、Google は今回かなり明確に「**SDK とエージェント基盤を主役にする**」方向へ移行しました。Gemini 3.5 Flash の公式ガイドでは、モデル自体は **GA / stable** ですが、**Interactions API はまだ Beta** であり、安定運用には引き続き `generateContent` を推奨しています。同時に、Python / JavaScript / REST のサンプルはすべて Interactions API で示され、`thinking_level`、`thought preservation`、`combined tool use` など新しい実装パターンが前提になっています。さらに Google は `google-genai` **SDK v2.0.0 以上** を強く推奨しています。 28

Gemini 3.5 Flash 単体の DX は良好です。公式モデルページでは、**Batch API**、 **caching**、**code execution**、**file search**、**function calling**、**Google Maps grounding**、**Search grounding**、**structured outputs**、**URL context**、**thinking** がサポート対象で、Computer Use と Live API は未対応と明記されています。つまり GPT 系や Claude 系で一般化してきた「ツール利用可能な reasoning model」としての要件は広く満たしつつ、**Computer Use が未対応** であるため、ブラウザ・GUI 自動操作を必要とするワークロードではまだ完全ではありません。 29

I/O 2026 における本当の DX 改善は **Managed Agents in the Gemini API** です。公式ブログによれば、Antigravity agent への単一 API 呼び出しで **リモート Linux 環境** が払い出され、そこに理由付け、計画、ツール利用、コード実行、ファイル操作、Web ブラウズが載ります。環境 ID を持続させることで multi-turn かつ stateful に扱え、AGENTS.md / SKILL.md による custom behavior 定義もできます。これは、従来自分で組んでいた orchestrator、container lifecycle、sandboxing、memory persistence を Google 側が肩代わりする設計です。 30

企業向けには、**Gemini Enterprise Agent Platform** が Google の答えです。4月22日に Vertex AI の進化系として発表され、I/O では Agent Studio、Skill Registry、RAG Engine、Gateway、Semantic Governance、Memory Bank などが整理されました。製品ページは、**200 以上の Google / third-party models**、Anthropic Claude や open models を含む Model Garden、評価サービス、ガバナンス機能を前面に出しており、単なる「Gemini hosting」ではなく **マルチモデル・マルチエージェントの管理基盤** として設計されています。 31

Google AI Studio も補助的ではなくなっています。I/O では、**AI Studio mobile app の事前登録**、ネイティブ Android 生成、ブラウザ内エミュレータ、ADB、Play Console へのテストトラック公開、プロジェクトの“**Export to Antigravity**” が発表されました。すなわち Google は、**プロトタイピングは AI Studio**、**本格的なエージェント運用は Antigravity / Agent Platform** という分業を描いています。 32

テーマ	実務上の意味	現状評価	出典
SDK / API 安定性	3.5 Flash は GA、ただし Interactions API は Beta	まずは GenerateContent 中心、本格 agent は Interactions を段階導入が安全	33

テーマ	実務上の意味	現状評価	出典
エージェント実装負荷	Sandbox、state、web、files を Google 側が用意	自前 orchestration の負担を大きく下げる	34
ツール網羅性	Search / Maps / code / functions / files / structured output	かなり強い。Computer Use だけは別系統扱い	29
レイテンシ	独立評価では出力速度は高いが TTFT は長め	tool-rich long-horizon には良いが、即時 UX では調整必要	35
コスト	価格は thinking 設定で変動。3.5 Flash は 3 Flash Preview より高い	速度と能力を考えると妥当だが、「Flash」の期待値より高いと感じる層も多い	36
運用摩擦	quota、high traffic、infinite loop complaints	初週の実運用体験はまだ荒い	37

初週の開発者反応を見る限り、**理論上の DX は大幅に向上したが、運用品質はまだ完全ではない**と言えます。Google AI Developers Forum では、Gemini 3.5 Flash や Antigravity をめぐって **weekly / 5-hour quota への不満、infinite loading loops、high traffic errors** が複数報告されており、Reddit でも「能力は上がったが価格が Flash らしくない」という反応が目立ちます。これは、Google のエージェント戦略が「魅力は大きいですが、すぐに全社標準化できるほど安定しているとは限らない」段階にあることを示します。³⁸

安全性・プライバシー・運用リスク

Gemini 3.5 Flash の安全性について、Google はモデルカードで比較的詳しい情報を出しています。自動評価では、Gemini 3 Flash 比で **text-to-text safety と multilingual safety に小さな後退**がある一方、**refusal tone の改善 と unjustified refusals の抑制**を報告しています。さらに manual review では、悪化分の大半は false positive か非重大事例だったと説明し、frontier safety でも Gemini 3.1 Pro を基準に **CCL 未到達**、cyber 領域でも閾値未満としています。ここから言えるのは、3.5 Flash は「安全性で破綻した攻めたモデル」ではなく、**能力向上と refusal quality の最適化を優先しつつ、安全性は概ね維持**した設計だということです。³⁹

もっとも、**hallucination rate については Gemini 3.5 Flash の公表値がありません**。Gemini API の Safety settings / factuality guidance は複数の安全フィルタと調整方法を提供していますが、jailbreak 成功率や hallucination 率のような外部比較可能な指標は、少なくとも 2026 年 5 月 23 日時点では公開されていません。これは企業導入において重要な欠落です。参考までに、前世代の **Gemini 3 Flash Preview** は Artificial Analysis の AA-Omniscience で高い知識精度を示す一方、**hallucination rate 91%**と報じられており、3.5 Flash でも新規測定が必要です。⁴⁰

Gemini Spark の安全性は、モデル安全性というより **権限安全性**の問題です。公式説明では、Spark は **opt-in** で、接続アプリはユーザーが選び、高リスク操作では **送金や送信前に確認**するよう設計されています。これは適切なガードレールです。しかし、Spark は同時に **Gmail、Calendar、Workspace、将来の MCP 接続、ローカルブラウザ、macOS のローカルファイル**にまたがる作業主体になる予定であり、ここには明らかに新しいリスクがあります。言い換えると、チャット応答の誤り 1 回よりも、**誤った自動化・過剰権限・誤接続**の方が被害が大きい製品です。これは公式仕様からの推論ですが、妥当な読みです。⁴¹

Managed Agents API はこの点でかなり堅い設計です。Google Cloud の公式ドキュメントでは、各エージェントは **隔離 sandbox** 上で動作し、デフォルトでは **外部ネットワーク・外部システム・認証情報へのアクセス**

スなしとされています。接続は開発者による明示設定が前提で、allowlist と human oversight を強調しています。エージェントに強い裁量を与えつつ、デフォルト deny の設計を取っているのは評価できます。 42

Gemini Omni Flash の安全性は、生成メディアならではの論点があります。公式モデルカードは、**SynthID watermarking**、production filters、human / automated red teaming、ethics & safety review を明記しつつ、**人物の発話変更機能は現時点で制限している**としています。さらに、既知の限界として**編集全体の完全一貫性、複雑なモーション、正確なテキスト描画**の難しさを認めています。これは誠実な開示ですが、同時に言えば、Omni は「万能な動画生成器」ではなく、**いまだに consistency / motion / typography がボトルネック**であることを意味します。 43

関連製品として重要なのが、I/O 同日付で Agent Platform の release notes に入った **AI Content Detection API** です。Omni や Veo のような生成メディア活用が増える局面では、生成そのものよりも **生成物の検知・来歴確認** が企業導入を左右する可能性があります。Google が Omni と同時に detection API を前面に出したのは、単なる付随機能ではなく、生成メディア基盤を本格運用するための補助線と見るべきです。 44

市場反応と採用動向

主要英語圏メディアの論調はかなり一致しています。**The Verge** は Gemini 3.5 Flash とアプリ再設計を「より賢い Gemini への更新」と捉え、**TechCrunch** は Google が Gemini を単なるチャットボットではなく **all-purpose AI hub** へ変えようとしていると整理しました。**WIRED** は Spark を OpenClaw への対抗策として描きつつ、常時稼働型 AI が個人データと権限を抱え込むことへの不安も前面に出しています。つまり、メディアは今回の I/O を「Google がようやく agent platform を本気で出してきた」発表として受け止めつつ、**能力よりも“委任してよいのか”**という問いを強く意識しています。 45

一方で、I/O の会場反応にはやや陰りもありました。**Business Insider** は、期待されていた **Gemini 3.5 Pro の即時公開がなく、会場で不満の声が出た**と伝えています。これは逆に言えば、Google の今回の出し玉は「3.5 Flash と agent stack は強いが、最上位フラッグシップの決定打はまだ先」という受け止めがあったということです。 46

日本語圏の受け止めも興味深いです。**Google Japan Blog** は I/O 2026 を、Gemini Omni と Gemini 3.5 を中心とする新ロードマップとして整理しており、**Wired Japan** は Spark を「Google 版 OpenClaw」として、常駐型 AI エージェントの実用性と不安の両面から報じました。**Ledge.ai** はさらに、Spark・3.5 Flash・Omni に加えて、検索、開発、動画、買い物、スマートグラスまで含めた **Google の AI 戦略全体**として解説しています。日本語圏では、単なるモデル性能よりも「Google 全体のプロダクトがどう変わるか」という観点が強い印象です。 47

コミュニティ反応は、**能力面は高評価、運用面は不満が強い**という二層構造です。Reddit では、Gemini 3.5 Flash について「3.1 Pro より良い」「速い」「実務で十分」という好意的評価がある一方、**価格上昇、quota、思考ループ、速度低下感**を訴える投稿も目立ちます。Google AI Developers Forum では、特に **Antigravity の infinite loop、high traffic、3.5 Flash の weekly rate limit への反発**が目立ち、初週の運用体験には明らかに粗さがあります。 48

採用・パートナー面では、Google はかなり実務寄りのメッセージを出しました。Managed Agents の公式ブログは、外部テスターとして **Ramp、Resemble AI、Klipy、Stitch** を挙げています。また Spark には **Canva、OpenTable、Instacart** への MCP 接続拡張が予告され、Google Cloud 側では Spark を **Gemini Enterprise / Workspace 顧客向けの 24/7 personal AI agent** として訴求しています。これは単なるデモではなく、「消費者向け常駐エージェント」と「企業向け自律ワークフロー基盤」を同時並行で押す方針です。

49

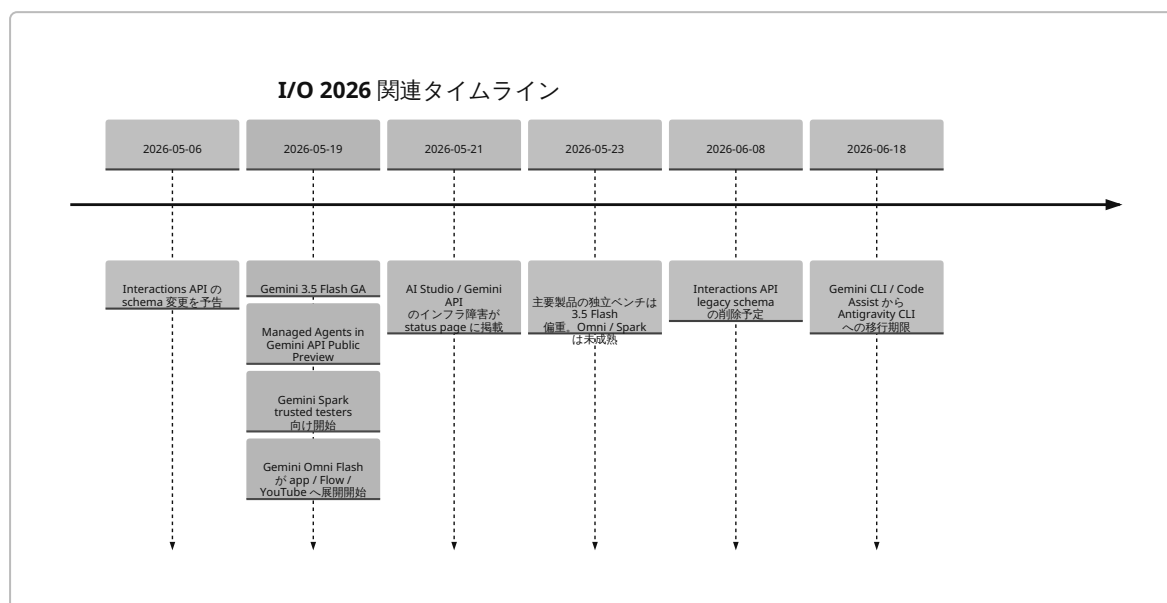
実例ベースで見ると、Google が示したユースケースはかなり具体的です。Spark では **クレジットカード明細から隠れサブスクを検出する recurring task**、**学校メールから締切を抜き出して家族向け digest を送る skill teaching**、**会議ノートやメールから Google Docs と companion email を自動生成する workflow** が示されました。Omni では **会話による動画編集**、**複数モダリティ入力からの動画生成**、AI Studio では **プロンプトからネイティブ Android アプリを生成して Play の internal test track に出す** 流れが提示されています。これは、Google が「LLM の一般知能」より **仕事の自動化単位** を前面に出していることの表れです。 50

制約・未解決点・今後のロードマップ

現時点で最大の制約は、**Gemini Omni と Gemini Spark の評価データ不足** です。Omni については API モデル ID、公式価格、独立 benchmark、安定的な出力上限が揃っておらず、Spark については SLA、誤作動率、長期 agent reliability、prompt injection 耐性の公開データが見当たりません。したがって、2026 年 5 月 23 日時点での実務判断は、**“3.5 Flash は今すぐ評価可能、Spark は限定導入、Omni は watch item”** が最も保守的で妥当です。 51

もうひとつの未解決点は、**価格設計と「Flash」ブランドの意味の再定義** です。Google は 3.5 Flash を agentic / coding 主力として押し上げた結果、純粋な安価モデルではなくなりました。独立評価でも高速性は突出していますが、コミュニティでは「Flash なのに高い」「quota が厳しい」といった不満が出ています。これは Google が Flash を“**廉価版**”ではなく“**高スループット実務版**”に再ポジショニングしていることを意味します。 52

以下は、I/O 2026 前後で確認できる公開上の時系列です。発表からまだ数日しか経っていないため、**正式な post-release patch note は限定的** です。むしろ visible なのは、**schema changes、ロールアウト計画、運用障害、CLI 移行** です。 53



ロードマップ上で確度が高いものは四つあります。**第一に、Gemini Omni の API 展開**。Google は数週間内の developers / enterprise APIs を予告しています。**第二に、Spark の機能拡張**。texting / emailing Spark、custom sub-agents、local browser 操作、macOS での local files automation が夏にかけて追加予定です。**第三に、Interactions API の schema 変更**。5月26日に新 schema が default になり、6月8日に legacy が削除されるため、早期導入組は移行が必要です。**第四に、Antigravity への一本化**。6月18日以降、Gemini CLI と Gemini Code Assist IDE extensions の consumer 向けリクエストは停止します。 54

加えて、報道ベースでは **Gemini 3.5 Pro が 6 月予定** とされています。しかし、この点は 2026 年 5 月 23 日時点で公式 API docs には現れておらず、評価の中心には据えにくい状況です。むしろ現時点での Google の強みは、「最強モデル未満でも十分強い 3.5 Flash を、Search、Gemini app、Spark、Managed Agents、Cloud 基盤へ一気に接続した」ことにあります。Google の防御力は**単体ベンチの首位より、配布面と基盤面の厚さ**にあります。 ⁵⁵

最終的な評価を一文でまとめるなら、次のようになります。**Gemini 3.5 Flash は「今すぐ試験導入できる」、Gemini Spark は「魅力的だが統制が必要」、Gemini Omni は「将来性は大きいが現時点では未検証」**です。I/O 2026 で Google が勝ち筋として提示したのは、LLM 単体の王座ではなく、**モデル・エージェント・生成メディア・企業統制・大規模配布を結んだフルスタック AI 企業**としての再定義でした。そこに最も説得力があるのは 3.5 Flash、最大の賭けは Spark、最大の未知数は Omni です。 ⁵⁶

🔗navlist🔗Google I/O 2026 関連報道🔗turn28news31,turn28news33,turn31news34,turn31news35🔗

-
- 1 <https://developers.googleblog.com/get-ready-for-google-io-2026/>
<https://developers.googleblog.com/get-ready-for-google-io-2026/>
 - 2 14 23 39 <https://deepmind.google/models/model-cards/gemini-3-5-flash/>
<https://deepmind.google/models/model-cards/gemini-3-5-flash/>
 - 3 10 24 25 43 <https://deepmind.google/models/model-cards/gemini-omni-flash/>
<https://deepmind.google/models/model-cards/gemini-omni-flash/>
 - 4 7 41 50 <https://blog.google/innovation-and-ai/products/gemini-app/next-evolution-gemini-app/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/products/gemini-app/next-evolution-gemini-app/>
 - 5 42 <https://docs.cloud.google.com/gemini-enterprise-agent-platform/build/managed-agents>
<https://docs.cloud.google.com/gemini-enterprise-agent-platform/build/managed-agents>
 - 6 <https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/google-io-2026-collection/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/google-io-2026-collection/>
 - 8 29 <https://ai.google.dev/gemini-api/docs/models/gemini-3.5-flash>
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/models/gemini-3.5-flash>
 - 9 <https://blog.google/innovation-and-ai/models-and-research/gemini-models/gemini-3-5/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/models-and-research/gemini-models/gemini-3-5/>
 - 11 30 34 49 <https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/managed-agents-gemini-api/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/managed-agents-gemini-api/>
 - 12 31 <https://cloud.google.com/blog/products/ai-machine-learning/introducing-gemini-enterprise-agent-platform>
<https://cloud.google.com/blog/products/ai-machine-learning/introducing-gemini-enterprise-agent-platform>
 - 13 <https://ai.google.dev/gemini-api/docs/models>
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/models>
 - 15 16 22 35 52 56 <https://artificialanalysis.ai/models/gemini-3-5-flash>
<https://artificialanalysis.ai/models/gemini-3-5-flash>
 - 17 <https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-4o>
<https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-4o>

- 18 <https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-4o-mini>
<https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-4o-mini>
- 19 20 <https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/models>
<https://docs.anthropic.com/en/docs/about-claude/models>
- 21 <https://www.llama.com/docs/model-cards-and-prompt-formats/llama4/>
<https://www.llama.com/docs/model-cards-and-prompt-formats/llama4/>
- 26 <https://deepmind.google/models/veo/>
<https://deepmind.google/models/veo/>
- 27 <https://developers.openai.com/api/docs/guides/video-generation>
<https://developers.openai.com/api/docs/guides/video-generation>
- 28 33 36 <https://ai.google.dev/gemini-api/docs/interactions/whats-new-gemini-3.5>
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/interactions/whats-new-gemini-3.5>
- 32 <https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/google-io-2026-developer-highlights/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/technology/developers-tools/google-io-2026-developer-highlights/>
- 37 <https://discuss.ai.google.dev/t/the-2026-stability-crisis-gemini-has-become-the-most-unreliable-frontier-ai-we-need-fixes-not-new-features/145795>
<https://discuss.ai.google.dev/t/the-2026-stability-crisis-gemini-has-become-the-most-unreliable-frontier-ai-we-need-fixes-not-new-features/145795>
- 38 <https://discuss.ai.google.dev/t/the-new-model-rate-limits-for-ai-pro-tier/146410>
<https://discuss.ai.google.dev/t/the-new-model-rate-limits-for-ai-pro-tier/146410>
- 40 <https://ai.google.dev/gemini-api/docs/safety-settings>
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/safety-settings>
- 44 <https://docs.cloud.google.com/gemini-enterprise-agent-platform/release-notes>
<https://docs.cloud.google.com/gemini-enterprise-agent-platform/release-notes>
- 45 <https://www.theverge.com/tech/933699/google-gemini-redesign-ai-3-5-flash-io-2026>
<https://www.theverge.com/tech/933699/google-gemini-redesign-ai-3-5-flash-io-2026>
- 46 55 <https://www.businessinsider.com/google-io-2026-gemini-3-5-pro-2026-5>
<https://www.businessinsider.com/google-io-2026-gemini-3-5-pro-2026-5>
- 47 <https://blog.google/intl/ja-jp/google-io-2026/>
<https://blog.google/intl/ja-jp/google-io-2026/>
- 48 https://www.reddit.com/r/singularity/comments/1tid8xb/whats_your_honest_opinion_about_gemini_35_flash/
https://www.reddit.com/r/singularity/comments/1tid8xb/whats_your_honest_opinion_about_gemini_35_flash/
- 51 54 <https://blog.google/innovation-and-ai/models-and-research/gemini-models/gemini-omni/>
<https://blog.google/innovation-and-ai/models-and-research/gemini-models/gemini-omni/>
- 53 <https://ai.google.dev/gemini-api/docs/changelog>
<https://ai.google.dev/gemini-api/docs/changelog>